

## プラスチック製容器包装分別収集の試行状況について

### 1 モデル地区の選定について

- ・燃やせないごみの収集曜日、単身世帯率、集合住宅割合、町内会加入率等から、以下の5地区を選定。

地区名	世帯数	人口	ステーション数
不二ガ丘	853	2,003	68
中央台	2,183	5,042	58
東野町	3,458	9,362	125
小野町	1,657	3,898	108
前並町	781	2,165	63
合計	8,932	22,470	422

市全域の約7.2%(世帯)

### 2 これまでの取組状況

平成22年4月～	モデル地区の選定
平成22年5～6月	モデル地区の区長・町内会長等へ説明
平成22年6～9月	モデル地区住民説明会
平成22年7月～	不燃ごみ排出状況の実態調査開始
平成22年8月	モデル地区内集合住宅の管理会社へ説明会
平成22年9月	資源用専用袋配付、モデル地区内集合住宅へ訪問啓発、啓発看板設置

### 3 プラ分別収集の周知について

#### (1) 説明会等の実施

- ・区長・町内会長、住民向け説明会 27町内会(述べ31回)
- ・集合住宅管理会社向け説明会 2回(7事業者)
- ・町内会で説明チラシ回覧、説明チラシ全戸配付

#### (2) ごみステーションに周知看板を設置

#### (3) 戸別訪問

町内会未加入の集合住宅を中心に戸別訪問による周知を実施

#### (4) 広報(9月15号)、ホームページによる周知

#### (5) ごみステーションでの早朝啓発(10月から)

#### 4 不燃ごみ排出状況の調査結果（7、8月分合計：各地区8回）

(1) 不燃ごみ排出量

150,390kg (2.04kg/世帯 1回) ※市内平均 1.95kg/世帯 1回 (21年度)

(2) 排出袋の数と内訳

83,709袋 (1.13袋/世帯 1回)

(指定ごみ袋 83,060袋、指定以外の袋 2301袋)

(3) 組成割合 (調査方法:ごみ袋3つを無作為に抽出し内容物を目視確認)。

##### 5 地区の平均値

プラ容器	缶、ビン、PET (汚れ等で資源に出せないもの)	その他不燃ごみ
65.2 %	15.6 %	19.3 %

#### 5 今後の検討事項

- ・ 金属類の分別について (資源化)
- ・ プラ容器以外のプラスチックごみの取扱について
- ・ 不燃ごみの減少による不燃ごみ収集回数 の検討

#### 6 今後の予定

平成 22 年 9 月～ 平成 22 年 10 月	モデル地区住民説明会、未加入世帯への個別啓発 分別収集開始、収集量・排出状況・組成調査および 検証 必要に応じ、モデル地区住民説明会の実施
平成 23 年 4 月～ 平成 23 年 7 月～	分別内容等の見直し検討、見直しに伴う説明会の実施 分別方法見直し後の分別開始 金属類の分別、その他プラの取扱、不燃ごみ収集回数 の検討 区域拡大案の検討